2026 11 vol.152

Yokohama Yomiuri

# ヨコハマよみうり

■発　　行／横浜読売会
■発 行 日／毎月5日
■発行エリア／横浜市内全域
■制　　作／ヨコハマよみうり編集部
〒231-0021
横浜市中区日本大通7
日本大通7ビル4F YBP
https://yokohama-yomiuri.co.jp

神奈川県からのお知らせ
〈神奈川県出展エリア〉
Vibrant INOCHI Forest
かながわ館
県公式HP

2027年国際園芸博覧会　2027.3.19–9.26 横浜・上瀬谷

**来年、開館60周年を迎える神奈川県立歴史博物館。「貴重な歴史資料を保存し、未来につなぐとともに、その魅力を多くの人に届けることが博物館の大切な使命」と望月一樹館長は話す。10月17日の再開館を機に、展示の工夫や職員の顔が見える博物館づくりにも力を入れている。館長に、博物館への思いと、次世代へつなぐための取り組みを伺った。**




1961年、横須賀生まれ、鎌倉育ち。駒澤大学文学部歴史学科を卒業後、神奈川県史資料の整理作業に携わり、88年に川崎市市民ミュージアムの歴史担当の学芸員、その後学芸室長となる。2017年にシルク博物館の学芸担当課長、18年からは神奈川県立歴史博物館の学芸部長に就任し、21年から現職。『眠れなくなるほど面白い　図解神奈川の話』（日本文芸社）の監修を務める。

## 鎌倉で歴史に目覚める

横須賀で生まれ、小学生の時に鎌倉に引っ越しました。鎌倉は、工事をすると歴史的な遺物が出土するような土地柄で、徐々に歴史を身近に感じるようになりました。自分の家からも何か出るのではないかと思い、庭に大きな穴を掘って怒られたこともあります。街のあちこちに寺社があったことも、歴史に興味を抱くきっかけになったと思います。

学芸員になろうと思ったのは、中学生の時です。歴史好きの先生が「上野の東京国立博物館でやっている展覧会に一緒に行きたい人はいるか」とクラスに声をかけ、一緒に連れて行ってもらいました。展示品の中に、古墳から出土した黄金の冠があり、その冠がどのくらいの重さか、先生に尋ねたところ、「それはわからないね。持ってみるしかない」と。どうしたら持てるのかと聞くと、「博物館の学芸員なら展示品に触れることができる」と教えてくれたんです。そのことがきっかけで、学芸員という職業を意識するようになりました。

また、高校で出会った日本史の先生も、ユニークな方でした。「縄文人になったつもりで1日の日記を書きなさい」という課題を出すような先生で、授業がとても面白く、ますます歴史が好きになりました。

## 1年9カ月ぶりの再開館

大学で古代史を学んだ後、川崎市市民ミュージアムに長く勤め、8年前に神奈川県立歴史博物館に来ました。

当館は来年、開館60周年を迎えます。高度経済成長期が始まり、社会が変化していく中で、昔から伝えられてきたものが失われていくことに危機感を抱いた研究者や市民の方々が声を上げ、誕生した博物館です。

開館当初は収集品がほとんどない状態でしたが、多くの方々にご寄贈いただき、今では収蔵品は約6万6千点に上ります。その中から選りすぐりの136件を展示しているのが、現在開催中の特別展です。改修工事を経て再開館した10月17日、18日の2日間で、14,000人もの方に来館していただきました。当館所蔵の国指定重要文化財4件を約20年ぶりに一堂に展示するほか、教科書にも掲載されている有名な品など、自慢のコレクションをまとめてご覧いただけます。

リニューアルされた展示室では、LED照明の導入や、光の反射を抑える展示ケースの工夫によって、資料が見やすくなりました。また、解説板にはキャッチコピーと、すべての漢字に振り仮名を付けました。キャッチコピーには、学芸員が「ここを見てほしい」というポイントを凝縮しています。担当学芸員がそれぞれ工夫を凝らしていますので、ぜひご注目ください。

## 博物館の使命

博物館の重要な使命は、資料を研究・保存し、未来に伝えていくことです。今、私たちが価値を感じているものを、何世代も後の人たちが見たときにも同じように感じてもらえるよう、大切に保存していくことが務めです。また、保存するだけでなく、実際に見てもらうことも重要です。できるだけ実物を展示し、見ていただくのがいいですね。実物には、当時の人々の思いや、使われた形跡など、さまざまな情報が宿っています。展示をご覧いただくことで、何らかの気づきを持ち帰っていただけたら嬉しいです。

## 歴史は足元にある

当館の旧館は、122年前に建てられた横浜正金銀行本店の建物で、建物自体が最大の展示物です。横浜だけでなく、神奈川県にとってもシンボル的な存在。この歴史ある建物を守りながら有効に活用していくことが私たちの役割だと考えています。

馬車道という歴史ある場所に博物館があることにも、大きな意義を感じています。横浜の街というと、みなとみらいを思い浮かべる方も多いかもしれません。しかし、今の横浜を築き上げる礎となったものが、この街には今も大切に残されています。私たちが普段何気なく歩いている土地の下には、さまざまな歴史が刻まれている。博物館を出た後、そうしたことも感じてもらえたらと思います。

## 顔が見える博物館に

学芸員をはじめ、博物館のスタッフには「職員の顔が見える博物館になろう」と呼びかけています。学芸員には裏方というイメージがありますが、どんどん前面に出て、「この展示は私が担当しました」とアピールしてほしい。誰が情報を発信しているのかを来館者に知ってもらうことは、博物館への信頼につながりますから。学芸員だけでなく、図書室のスタッフも事務職員も、博物館に関わる全員で盛り上げ、この博物館を次の世代につないでいきたいです。

**特別展「入門！神奈川県立歴史博物館 ―県博の守り伝えていくコレクション―」**

**12月13日（日）まで**
前期：～11月15日
後期：11月17日～12月13日




観覧料（特別展のみ）
- 一般600円、
- 20歳未満・学生400円
- 65歳以上200円 ほか

開館時間：
9時30分～17時
（入館は16時30分まで）
※11月20日（金）は19時まで開館。
月曜休館（祝日の場合は開館）　☎045（201）0926

11・12月開催
女性のための お金の勉強会
NISAやiDeCoをはじめたい人にもおすすめ10年後20年後に差がつく老後資金の貯め方

# 今からでも間に合う！ お金の貯め方、増やし方

お土産付き崎陽軒シウマイ　参加者には崎陽軒のシウマイ（30個入り）をプレゼント

女性のためのお金の勉強会（マネーセミナー）開催概要
- 日にち　11/8(日)18(水)22(日)23(月祝)12/6(日)
- 時間　午前の部　10:00～12:00（ 9:45開場）
  午後の部　13:00～15:00(12:45開場)
- 参加費　無料（要予約）
- 定員　各日各部先着20人
- 講師　2級ファイナンシャル・プランニング技能士
  織田優さん/岩佐勝之さん/田口正明さん/成見暢基さん
  ※開催日により異なります
- 特典　① 崎陽軒シウマイのお土産
  ② 無料個別相談会（後日）の予約

※成人女性が対象です（夫婦での参加は可）
※未成年、男性のみ、同業者の参加はできません
※初めて参加する方を優先させていただきます
● 申し込み セミナー事務局 10:00～17:00 無休
0120-505-470



こんな人は参加を
- ☑ お金の貯め方がわからない
- ☑ iDeCoやNISAに興味がある
- ☑ 老後資金はどのくらい必要なの？
- ☑ お金に関する賢い相続対策とは？
- ☑ 今どきのお金の増やし方を知りたい
- ☑ 退職金はどうするのが良いの？

止まらない値上げのニュースなどで将来への不安が募るばかりではありませんか？さらに低金利時代の今、銀行や郵便局にお金を預けていてもお金は増えない時代と言えるでしょう。

この大変な人生100年時代を充実させるにはお金について正しい知識が必要です。なかなかお金が貯まらないのは、〝貯まる法則〟を知らないのが原因かもしれません。

このまま何もしないと10年後、20年後に大きな差がつく可能性が。「お金を増やすためには具体的にどうすれば良いの？」「NISAやiDeCoって、よく耳にするけど安全なの？」「老後2000万円問題、本当はいくら必要なの？」など、知りたいことはありませんか。

フジサンケイ企画が開催する「女性のためのお金の勉強会」では、ファイナンシャルプランナーがプロだから知る「国が勧める資産運用のポイントと積立投資のお金の増えるしくみ」を初心者にも分かりやすく解説。セミナー終了後には、参加者特典のファイナンシャルプランナーとの無料個別相談（後日）の予約受け付けも。気軽に参加してみませんか。